

問 42 【自治】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

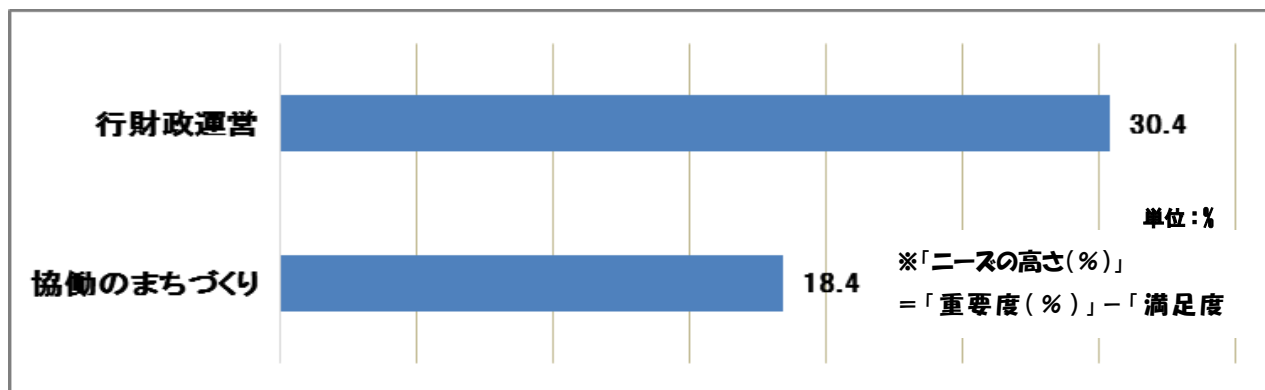
() 内前回調査数値

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
① 協働のまちづくり	<p>【施策の目標】 自治基本条例に基づき、町民活動の支援や広報・広聴機能の充実を図ることにより、様々なまちづくり活動への参画を促進し、町民一人ひとりがまち主体として、自らの手で自らのまちを創るという意味を持ち、互いに助け合いながら、いつまでも安心して暮らすことのできる「しあわせを感じるまち」の実現をめざします。</p> <p>【基本事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民参加の促進 ・ 地域活動の推進 ・ 広報広聴活動の充実 ・ 開かれた行政の推進 	53.2% (50.3%)	71.6% (70.1%)
② 行財政運営	<p>【施策の目標】 次代を担う子どもたちに過大な負担を残すことなく、すべての町民が希望を持って生活できるよう、限られた財源や人員の中で、効率的で質の高い行政運営に努めるとともに、計画的で健全な財政運営により、分権時代に対応した自主・自立の自治体経営を進めます。</p> <p>また、高度化・複雑化する行政需要に対応するため、住民の目線に立ったきめ細かなサービスの提供や職員的能力向上、近隣自治体との広域的な連携により、迅速で質の高い行政サービスの提供をめざします。</p> <p>【基本事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健全な財政運営・効率的、効果的な行政運営 ・ 行政サービスの充実・広域的な協力、連携 	48.8% (42.6%)	79.2% (78.7%)

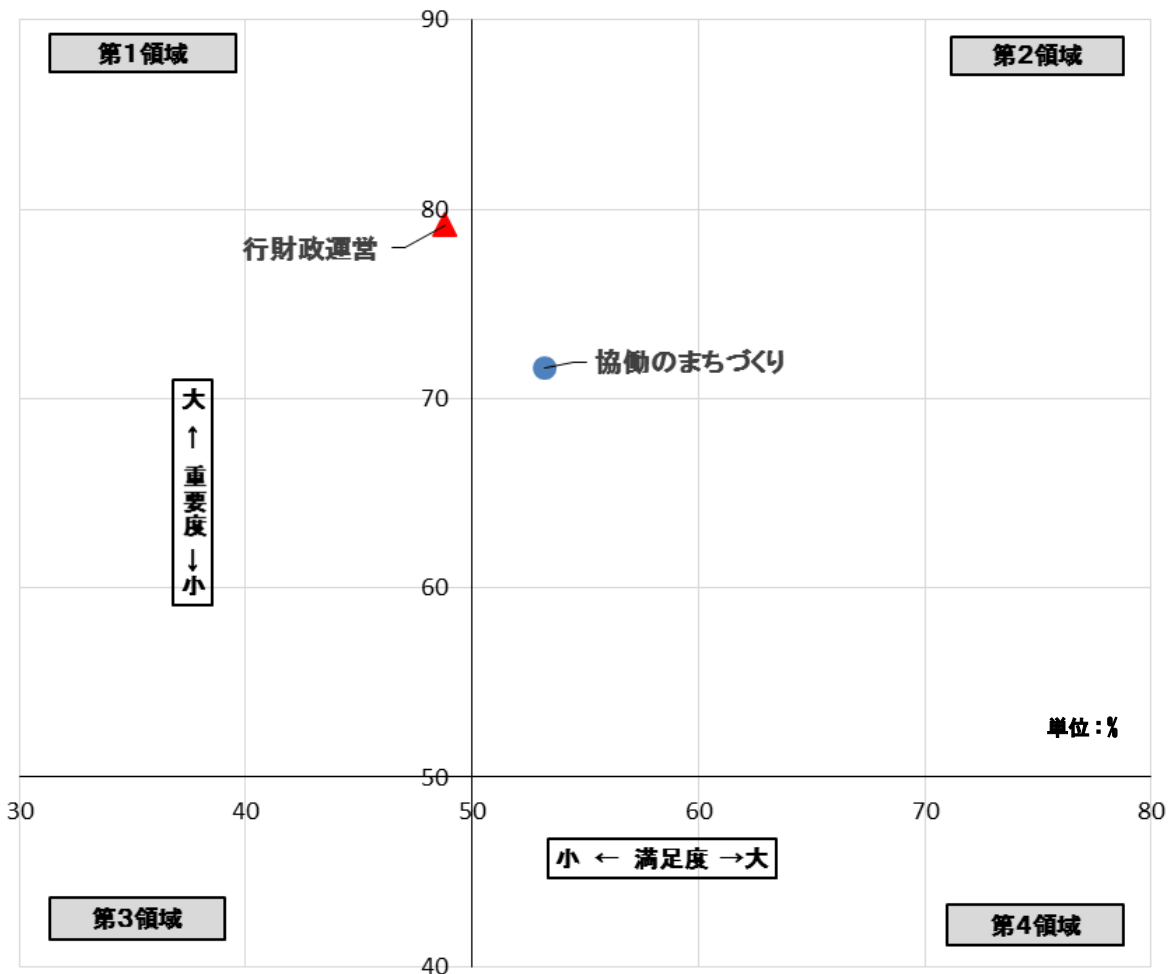
【自治】分野の施策に対するニーズの高さ

★行財政運営の満足度は高くなく、ニーズが高くなっています。

★協働のまちづくりは第2領域、行財政運営は第1領域に入っています。



「自治」分野の満足度・重要度分布図



※ 各領域の説明

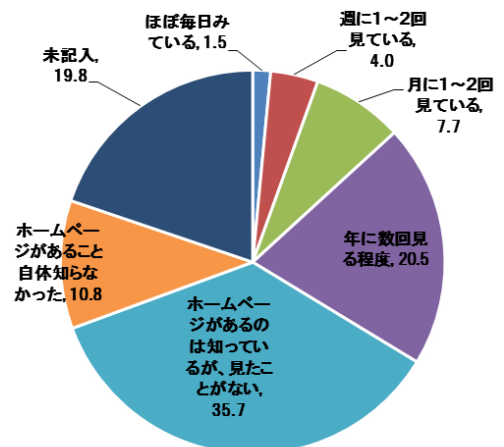
- 【第1領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 今後、特に力を入れるべき施策
- 【第2領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 継続して取り組む施策
- 【第3領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 改善を要する施策
- 【第4領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 見直しを検討すべき施策

問 43 あなたは、白老町のホームページを見たことがありますか。

- 「あることは知っているが見たことはない」が多数
- 「年に数回見ている」という回答も多い

・情報化社会の中であって、ホームページやSNS等の活用機会が増えており、情報発信、伝達の方法等が変化してきていますが、町のホームページの活用状況は、やや低調であり、その内容の充実とともに認知度の向上に努めていく必要があります。

※ SNSとは・・・ソーシャルネットワーキングサービスの略称
インターネット上で情報の発信・交換・共有等が出来るサービス



単位：%